

# 区議会だより

発行/江戸川区議会  
江戸川区中央1-4-1  
ダイヤルイン 5662-6736  
http://www.gikai.city.edogawa.tokyo.jp/

## 214号の 主な記事

- 第3回定例会概要、議員提出議案.....1ページ
- 区長提出議案、請願・陳情の処理状況.....2ページ
- 代表質問、一般質問.....3～5ページ
- 決算特別委員会の概要.....6～8ページ

### 第3回定例会日程

9月25日	議案上程、委員会付託
29日	代表質問、一般質問
30日	一般質問
10月2・3・6・7・9日	} 決算審査
10・14・17日	
20日	
21日	請願・陳情等の審査
28日	委員会報告及び表決

## 平成26年第3回定例会

# 平成25年度各会計歳入歳出決算を認定

### 補正予算を含む18議案と「庁舎移転問題について」、意見書2件を可決

平成26年第3回定例会は9月25日から10月28日までの34日間の会期で開かれました。

この定例会には区長から、総額48億5000万円余を計上した一般会計補正予算及び特別会計補正予算を含む議案16件、同意2件、報告8件が提出されました。

平成25年度各会計歳入歳出決算については、決算特別委員会を設置し、区政の課題など詳細にわたり審査を行いました。

決算の認定を含め、これらの議案はいずれも原案のとおり可決されました。

また、議員から「庁舎移転問題について」を含む4件の議案が提出され、継続審査となった1件を除き、それぞれ可決されました。意見書は関係機関に送付しました。

この定例会の会議録は、1月下旬に出来上がります。詳細は、区議会ホームページ、お近くの図書館、コミュニティ図書館、または区議会事務局をご覧ください。



篠崎ポニーランド

### 庁舎移転問題検討特別委員会を設置

議員から「庁舎移転問題検討特別委員会」を設置する議案が提出され、可決されました。

この委員会は、21名で構成します。

#### 調査項目

江戸川区役所本庁舎移転候補地の選定に関する事項

#### 設置目的

区役所本庁舎は、鉄筋コンクリートの耐用年数を迎つつあること、バリアフリーなど機能面で物理的に解消困難な部分があること、来庁者に対して利便性が高いとはいえないこと、災害対策本部としての機能が十分に発揮できるかなどの問題がある。

さらに、現在の敷地内で庁舎を建て替えると今より床面積が狭くなるのが想定されることから、庁舎移転を視野に入れ、新庁舎の建設を円滑に進めるため、庁舎移転候補地を提言する必要がある。

### 議員から出され議決された議案

—意見書は各関係機関に送りました—

#### ○地方税財源の拡充に関する意見書(全会一致)

(衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣 あて)  
法人実効税率を引き下げる場合、国の責任において確実な代替財源を確保するとともに、地方法人特別税などを撤廃して地方税として復元し、地方税財源の拡充を国に求める。

#### ○「危険ドラッグ(脱法ハーブ)」の根絶に向けた総合的な対策の強化を求める意見書(全会一致)

(内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、国家公安委員会委員長 あて)  
危険性が強く指摘されている危険ドラッグの国内外の販売・流通等に関する実態調査及び健康被害との因果関係の調査研究の推進、取締態勢の充実を図ることなどを国に求める。

#### ○庁舎移転問題について

賛成 38(自由民主党、公明党、民主・みんな・維新、祖国日本、えどがわ区民ひろば、生活者ネットワーク、青空)

反対 3(日本共産党)

詳細につきましては、「庁舎移転問題検討特別委員会を設置」をご参照ください。

区長から出された議案

● 予算

- 平成26年度江戸川区一般会計補正予算(第2号)
  - 密集住宅市街地整備促進に伴う用地取得費や小学校通学路への防犯カメラ設置経費など14億3,327万8千円を追加し、総額2,220億7,583万3千円とする。
- 平成26年度江戸川区国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
  - 23億6,149万8千円を追加し、総額740億4,263万3千円とする。
- 平成26年度江戸川区介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
  - 9億9,489万8千円を追加し、総額369億9,139万8千円とする。
- 平成26年度江戸川区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
  - 6,065万7千円を追加し、総額104億7,475万7千円とする。

● 条例(新規)

- 江戸川区特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例 ※1
  - 子ども・子育て支援法の制定に伴い、公的給付対象である教育・保育施設(注1)及び地域型保育事業(注2)について施設の事業者が満たすべき運営基準を定める。
  - 注1 認定こども園、幼稚園及び保育所
  - 注2 家庭的保育事業、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業及び事業所内保育事業
- 江戸川区家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例 ※1
  - 児童福祉法の改正に伴い、家庭的保育事業等(注3)が区の認可事業として位置付けられたため、認可基準を定める。
  - 注3 子ども・子育て支援法における「地域型保育事業」のこと
- 江戸川区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 ※2
  - 児童福祉法の改正に伴い、放課後児童健全育成事業を行う者が遵守しなければならない設備及び運営の基準を定める。
- 江戸川区すくすくスクール事業条例 ※3
  - 児童福祉法によらない、学童クラブ事業を包含した江戸川区独自のすくすくスクール事業の根拠として、条例を制定する。
  - 江戸川区学童クラブ事業条例を廃止する。

● 条例(一部改正)

- 町区域の新設に伴う関係条例の整理に関する条例
  - 西瑞江二丁目全域及び東瑞江二丁目の一部をもって新設した、瑞江四丁目及び東瑞江三丁目において住居表示を実施することに伴い、3件の条例を改正する。
- 江戸川区出張所設置条例
  - 東部事務所の所管区域の規定を住居表示実施後のものに改める。
- 江戸川区立くすのきカルチャーセンター条例
  - 東部くすのきカルチャーセンターの位置の規定を住居表示実施後のものに改める。
- 江戸川区立学校設置条例
  - 下鎌田小学校、下鎌田西小学校及び瑞江第二中学校の位置の規定を住居表示実施後のものに改める。
- 職員の特殊勤務手当に関する条例
  - 母子及び寡婦福祉法の題名が母子及び父子並びに寡婦福祉法に改正されたことに伴い、条例で引用している法律の題名を改める。
- 江戸川区母子福祉生活一時資金貸付条例
  - 母子及び寡婦福祉法の題名が母子及び父子並びに寡婦福祉法に改正されたことに伴い、条例で引用している法律の題名を改める。
- 江戸川区事務手数料条例 ※1
  - 薬事法及び同法施行令が医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律及び同法施行令に改正されたことに伴い、条例で引用している法律の題名を改める。
  - 薬事法が改正され、高度管理医療機器等の販売業又は貸与業の許可等の権限が、保健所を設置する市の市長又は特別区の区長に移譲されたことに伴い、許可等の事務に係る手数料について、新たに規定する。
- 江戸川区立障害者支援ハウス条例
  - 障害児相談支援の根拠である児童福祉法の改正により、引用条文に移動が生じるため規定を整備する。
- 江戸川区育成室条例
  - 児童発達支援と障害児相談支援の根拠である児童福祉法の改正により、引用条文に移動が生じるため規定を整備する。
- 江戸川区保育所の保育の実施に関する条例
  - 保育料の滞納処分の根拠である児童福祉法の改正により、引用条文に移動が生じるため、規定を整備する。

● 契約

- 総合文化センター小ホール外舞台照明設備改修工事請負契約
  - 制限付き一般競争入札により、契約金額1億5,120万円で桐井電設工業株式会社と契約。

● 同意

- 江戸川区教育委員会委員の任命同意
  - 教育委員会委員に白井正三郎生活振興部長を任命。(前任の教育委員会委員の任期満了(平成26年10月10日)まで)
- 江戸川区教育委員会委員の任命同意
  - 教育委員会委員に白井正三郎生活振興部長を任命。(前任の教育委員会委員の任期満了以降)

● 報告

- 平成25年度江戸川区各会計歳入歳出決算の認定 ※4
  - 決算審査の概要、各会派の意見、決算のあらまし等は6～8ページに掲載しています。
- 平成25年度決算に基づく江戸川区健全化判断比率の報告
  - 地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、平成25年度決算に基づく江戸川区健全化判断比率を報告する。
- 平成25年度江戸川区一般会計の継続費の精算
  - 新川耐震護岸整備に伴う河川改良整備費及び松江小学校施設改築費の精算。
- 専決処分した事件の報告
  - 原告から提起された損害賠償請求事件について、裁判所からの和解勧告を踏まえ和解の専決処分を行った。
- 専決処分した事件の報告
  - 控訴人から控訴された損害賠償請求控訴事件について、裁判所からの和解勧告を踏まえ和解の専決処分を行った。
- 専決処分した事件の報告
  - 江戸川区の私債権の管理に関する条例に基づき、生活一時資金、療養出産資金、三世同居住宅資金、母子福祉生活一時資金の各貸付金の返済を求める訴えに係る和解について、7件の専決処分を行った。

- 放棄した私債権の報告
  - 国民健康保険高額療養費資金貸付金106件、336万9,045円の債権を放棄した。
- 議決を得た契約の契約変更
  - 江戸川区立春江小学校改築工事
    - 地中障害物の撤去処分及び敷地周囲の歩道空間の整備を行ったこと等による増額変更。
  - 江戸川区立船堀小学校改築工事(その2)
    - 高さが6mを超える図書室等の天井を耐震性能の高い仕様に変更したこと等による増額変更。
  - 江戸川区立船堀小学校改築に伴う空調設備工事
    - 空調設備の電力使用量が契約電力量を超えた場合に、契約電力内の使用量に自動調整する方式を導入したこと等による増額変更。
  - 江戸川区立松江第五中学校改築工事
    - 建設発生土が環境基準を上回ったため、詳細調査を実施したこと及び賃金等に急激な変動が生じたこと等による増額変更。
  - 上一色中橋架替工事(その4の3)
    - 上一色側橋脚の載荷試験に伴い、ボルトの取替えを追加したこと及びGPS計測システムによる観測測量を実施したこと等による増額変更。

※印は賛否の分かれた議案

- ※1 賛成 37(自由民主党、公明党、民主・みんな・維新、祖国日本、えどがわ区民ひろば、生活者ネットワーク)
    - 反対 4(日本共産党、青空)
  - ※2 賛成 36(自由民主党、公明党、民主・みんな・維新、祖国日本、生活者ネットワーク)
    - 反対 5(日本共産党、えどがわ区民ひろば、青空)
  - ※3 賛成 35(自由民主党、公明党、民主・みんな・維新、祖国日本)
    - 反対 6(日本共産党、えどがわ区民ひろば、生活者ネットワーク、青空)
  - ※4 賛成 29(自由民主党、公明党、祖国日本、生活者ネットワーク)
    - 反対 12(民主・みんな・維新、日本共産党、えどがわ区民ひろば、青空)
- ※印以外の議案は全会一致で可決

皆さんから出された請願・陳情

●新たに受理されたもの

番号	内容	付託委員会名
203号	長期に留する非正規滞在外国人住民を正規化し、誰もが希望の持てる社会を築くための意見書提出を求める陳情	生活振興環境委員会
204号	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情	総務委員会
205号	平井7丁目住民の生活環境と動物虐待を改善するための陳情	福祉健康委員会
206号	「労働者保護ルールの見直しについて慎重な対応を求める意見書」の提出についての請願	総務委員会
207号	特定秘密保護法の区議会への陳情	総務委員会
208号	安心安全のジャブジャブ池設置を求める陳情	建設委員会
209号	子ども・子育て支援新制度に関する陳情	福祉健康委員会
210号	平成26年第3回江戸川区議会定例会に提出される第74号議案「江戸川区すくすくスクール事業条例」およびこれの付則3である「江戸川区学童クラブ事業条例の廃止」の廃案を求める陳情	文教委員会
211号	西篠崎土地区画整理組合の各事件において正当と主張する行政の立証責任義務の履行を求める陳情	総務委員会
212号	江戸川区議会において区民の陳情に対して憲法第16条に基づき「ノーノー」をしないことを求める陳情	総務委員会
213号	原発に関する区議会決議を求める陳情	総務委員会
214号	横田めぐみさん拉致事件に関する陳情	総務委員会(参考送付)
215号	区民の生命を守るため、莫大な税金を使うスーパー堤防事業は即中止し、内水氾濫対策こそ優先すべきことを求める陳情	建設委員会
216号	都市計画道路補助第283号線の拡幅に反対する陳情	建設委員会

●今回の定例会で結果が出されたもの

番号	内容	結果
173号	「容器包装リサイクル法を発生抑制と再使用を促進する法律に改正するための意見書」の採択を求める陳情	※趣旨採択(全会一致)
179号	要支援者を介護予防給付から外すことに反対する陳情	不採択(36:5)
180号	西葛西テニスコートの整備を求める陳情	不採択(37:4)
183号	プールガーデン跡地に、子どもたちが水遊びできる場を作ることを求める陳情	不採択(36:5)
185号	北小岩地域でのスーパー堤防事業の計画撤回を求める陳情	不採択(28:13)
192号	小学校の教室で使うロッカーを新たに発注する場合は鍵付とするよう求める陳情	不採択(全会一致)
193号	北小岩1丁目東部地区の土壌汚染調査および改良工事を求める陳情	不採択(35:6)

※議会としては、願意について十分理解できるものの、当分の間は願意どりの実現は困難であるため「趣旨には賛成である」という意味の議決です。

●審査未了となったもの

162号	市民3分間議会演説制度を求める陳情
164号	陳情審査についての陳情
165号	区政相談員および区政報告会の設置に関する陳情
169号	西篠崎土地区画整理事業地内含む江戸川区議会で承認した道路法の道路に不当な建築基準法の指定を実施した事の改善を求める陳情
170号	2020年オリンピック・パラリンピック東京大会開催における葛西臨海公園へのカヌースラローム競技場建設計画に関する陳情
171号	総務部総務課に対する不服申し立てに関する陳情

区議会だより213号 記事の訂正とお詫び

2頁の「区長から出された議案」について、※1、※2、※3印以外の議案は「全会派一致で可決」です。  
その旨の説明が不足しておりましたので、お詫びして訂正させていただきます。

## 区政への質問

9月29日に代表質問と一般質問、30日に一般質問が行なわれ、活発な論議が展開されました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載します。

### 代表質問

#### 庁舎のあり方!?子育て・介護が笑顔で出来る江戸川区



自由民主党  
早川 和江

問 今後の区政の主要課題の一つである庁舎の問題は、現在の庁舎が建築後52年を経過し、鉄筋コンクリートの耐用年数が限界を迎えつつあることや外壁、空調設備及び電気設備を始めとして、補修に今後30年で81億円もの経費がかかることなど、さまざまな課題を抱えている。喫緊の課題である庁舎問題に対して区長の強力なリーダーシップと実行力により、今後どのように取り組んでいく決意か。

答 現住所地での庁舎の建て替えは克服できない問題があり、非常に困難である。移転する場合は、なるべく早く候補地を区民に示したいと考えているので、議会で候補地の審議を始めていただき、早期に結論をいただきたい。その上で、専門家、議員、住民の代表を含めた建設協議会などで、スケジュール、財源、跡地利用などを含めた議論を進めていきたい。

問 区の財政にも大きな影響を与える法人実効税率が、政府により来年度から引き下げる方向で検討がはじめられた。仮に法人税を2%引き下げた場合、区への影響額は16億円の減収と予想されている。また、消費税率が10%へ引き上げられた場合、法人住民税の国税化がさらに拡大され、大都市圏から1兆円の財源が国に吸い上げられ地方に配分されるとも言われている。このようなことは、本来、国が自らの責任で行うべき地方自治体間の財政格差是正を放棄することである。こうした国の意向に対し、区として区長会としてどのように臨んでいくのか。

答 法人実効税率の引き下げに伴う減収分をどう穴埋めするかが今後の課題であるが、国が代替財源として検討する外形標準課税の拡大はいろいろと問題がある。また、法人住民税を国有化することは、税収額も多いが大規模な行政需要もある大都市の経営そのものを危機に陥らせる恐れがある。そのため、特別区長会は、同じ立場である東京都と協力して国に対し要請を行う準備をしており、今後もこうした活動を続けていく。

問 元総務大臣が座長の「日本創生会議」が発表した我が国の将来人口推計によると、将来的に消滅する恐れが高い区市町村が全国で896にのぼると推計している。その一方で、大都市特に東京圏は高齢化が一挙に進むとしている。こうした状況を踏まえ、今後取り組むべき重要な施策についての基本的な考えは。

答 地方と都市が共存共栄してお互いに繁栄できる道を探るということを国家的な課題として取り組もうとしている。これを踏まえて区としても新たな展開をしていくための努力をしていく。

#### 子ども・子育て支援新制度について

- ①新制度についての周知・PRはどう進めるのか。
- ②区内の認定こども園は今後も継続するのか。

③新制度に移行しても私立幼稚園保護者負担軽減制度は維持されるか。



#### 子ども・子育て支援新制度

- 答 ①条例制定や周知は滞りなく進めていく。
- ②継続する意向と聞いている。
- ③現在の水準を維持していこうと考えている。

#### 第6期介護保険事業計画について

- ①介護保険制度改正を踏まえ、中長期視点に立った高齢者施設の明確な目標数値の提示を。
- ②家族介護者の負担軽減のために区の独自策を盛り込んで策定を。

答 ①税制の動向や保険料などを勘案する必要があり、施設の目標数値の提示は難しい。

②財政的な問題もあるので、必要最小限の介護保険制度にし、行き届かないところを自治体や地域の力で、どうかカバーするかということを中心に考えて取り組んでいく。

#### 災害の予測と避難勧告等のあり方

①区の災害予測と避難のあり方について基準はあるか。基準はどの程度細く決められているのか。

②避難指示等を出す重責を負う区長の思いは。

答 ①洪水や高潮については一定の基準があり、荒川や江戸川の水位が危険水位に達すれば、避難勧告や避難指示などに結びつく。

②避難勧告等を出すタイミングの議論も必要だが、本当に避難できるのか広域的な自治体連携の中で探求をしていく。

#### 今後の区政運営の4つの重要課題及び水害対策について



公明党  
竹内 すすむ

問 「庁舎・公共施設のあり方」、「高齢化への対応」、「少子化への対応」、「学校適正配置」これら区政運営における4つの重要課題への今後の取り組みと具体的なスケジュールは。

答 「庁舎の建て替え」は、移転の場合、新庁舎建設と移転後の跡地利用や活性化を並行して検討する。「高齢化・少子化への対応」はまだ具体的な内容を示す段階ではなく、課題に対する着眼点をどう順位づけするかを考えて取り組んでいく。「学校適正配置」は、今後の児童・生徒数の推移を考慮し取り組みたい。

#### 大規模水害対策について

- ①区のタイムライン策定への取り組みは。
  - ②水害を防止する河川施設整備計画の見通しは。
- 答 ①一番大きな災害を設定して、どういうシミュレーションでタイムラインを作るかを国と周辺区が一体となり、相当踏み込んで考え取り組む必要がある。

②東日本大震災を受け、最大級の地震が発生した際の津波に対応できるよう河川の施設を充実させる対策を早期に事業化するよう東京都へ働きかけていく。

#### 子ども・子育て支援新制度と本区の子育て支援について

①江戸川区子ども・子育て支援事業計画の策定スケジュールは。

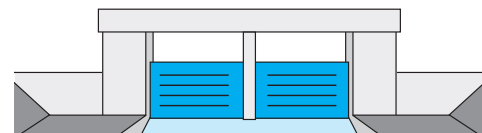
②私立幼稚園保護者負担軽減制度への影響は。

答 ①平成27年度から5年間の計画を子ども・子育て応援会議の中で議論を行い策定していく。

②保護者負担は現行の負担水準を維持する。

問 防災対策や医療体制など周辺自治体との広域連携についての考えは。

答 災害対応など23区と地方という関係では大いに広域連携を考えたい。



#### 河川整備計画

問 財政負担の軽減、公共施設等の最適配置の為に「公共施設等統合管理計画」の策定を。

答 将来の人口構造の変化や施設の老朽化等を見据え計画策定に取り組んでいく。

問 区が主体の結婚相談所や婚活イベントなど婚活支援事業を実施する考えは。

答 今の時代に合った、若者向けのイメージの良いものを研究していきたい。

問 政治への関心と将来に向けた投票率向上のために子ども議会を実施する考えは。

答 副読本や議会中継などで、議会への理解や関心を高めることはできるが、効果的な体験となるかを研究したい。

#### 船堀橋北側エレベーター設置の見通しは。

答 区が東京電力と交換した用地に、都がエレベーターを設置する。平成27年度末に完成予定である。

#### 小中学校の面積を、1万m<sup>2</sup>以上に広げる努力を



民主・みんな・維新  
田中 けん

問 平成26年8月豪雨に関連して。

①礼文島の豪雨被害の時のようにコンビニの配送車など日常的に物資を供給する車が渋滞や災害などにより立ち往生せざるを得ない状況になった場合、社会全体の利益を考え、どのように行動するのが正しいか。

②区内に設置されている災害支援型の自動販売機の増設が望まれるが、災害時正常に機能するのか。また、区と業者が締結した協定書を踏まえた上で、誰が無償使用の決定権を行使できるか。

答 ①災害時はどういう状況になっていくか想定しにくい場面が多々ある。予測できることにはすべて対策を講じるべく、もっと丁寧にいろいろ考えておく必要がある。

②発災した時に区が業者に要請をして無償で使えるよう協定を結んでいる。自販機の飲料水などを使わないといけないという判断が必要な時にそれが可能となるような体制を組んでいる。

問 学校の適正配置を実施していく際に、行政に求められる価値観は、「数が多くても狭い小中学校から、数が少なくても広い小中学校への転換」である。これまで小中学校の敷地面積を広げるべきとの提案に対して、いずれも退けられてきた経緯があるが、実際には、松江

第五中学校と第三松江小学校では敷地面積が広がっており、その点は評価している。しかし、都市計画道路の整備により、敷地面積が狭くなる松江第三中学校については、隣接地の購入の検討を。今後、本格的に区内小中学校の適正配置について検討されるが「敷地面積をより広く」という価値観の加味を。

☎ 学校改築に合わせて環境改善のためにやっておくべきことはいろいろやってきている。松江第三中学校の隣接地についても購入の努力をしたが、地主との話がまとまらなかった。学校の敷地が広いことは望ましいことなので、例えば学校の統廃合などでできた空き地を代替地として使い、近隣の人に協力いただく方法など、お金を使わずにできる方法も考えられるので、検討していきたい。

☎ スティーブ・ジョブズが考えるように、子どもの頃からハイテク機器に触れすぎることにより、社交性を高める大切な時間が奪われ、人格形成に悪影響を与えることをどう考えるか。



子どもとハイテク機器

☎ ハイテク機器に触れることのメリット、デメリット両方あるが、デメリットをなるべくなくしていく形で教育の中に取り込んでいきたい。ツールであるICT機器に支配される人間にならないため、保護者も交えたセーフティー教室やICT教室を開催するなど対応している。

☎ 江戸川区役所から篠崎駅へのバス路線について、区役所東側の細い道路に路上駐車車両があるとバスが右折できずに立ち往生することがある。道路を広げるなど根本的な解決を。

☎ 曲り角にすみ切りができるよう地主と交渉中だが、近い将来に話がまとまると考えている。

一般質問

東京オリンピックに向けて連合町会対抗駅伝を!



自由民主党 島村 和成

☎ 2020年東京オリンピック開催に向けて啓蒙活動の一環として、区内一周40km「連合町会対抗駅伝」の実現を。

☎ 大変面白い事業だと思うが、交通規制や運営に必要な人的規模などを考えると相当に困難な状況が予想される。ただ、東京オリンピックに向け国をあげて盛り上げていこうという気運の中のひとつの方法として十分参考にしていきたい。

☎ 教育の最大の使命は「日本は素晴らしい国である」、「日本人として生まれてよかった」という気持ちを持った子どもを育てていくことである。子どもに与えなければならないのは、「誇り」と「自信」であり、郷土を愛せない者が自分の祖国を愛することができないのは当然である。まずは、自分の住む「江戸川区」を愛し、誇りを持つ子どもを育てることが大事。江戸川区の子どもの教育について、教育長の熱い思いを。

☎ 江戸川区の子どもは保護者だけでなく区の宝であり希望である。子どもが故郷江戸川区を愛し、誇りをもって育つことは素晴らしいことで、そのように育てていかなければならない。そのためには、自ら考えて行動できる能力が必要で、知識を得ることが楽しいと思うような学校の環境であるべきである。さらに道徳心と正しい礼節をもつことが大事であり、1人でも多くの子どもが心身のたくましさをもって正しく生きる心と力を持てるよう、区、保護者、学校、教育委員会、区のおよき伝統である地域力のある地域との連携を深めて教育活動を進めていきたい。

☎ わがまち「江戸川区」を誇りに思う子どもの育成と学力向上について

①大分県豊後高田市が取り組む「学びの二十一世紀塾」は、子どもたちが地域を誇れるまちづくりが市民の住みやすいまちづくりにつながるという市長の思いから進められてきた先進的な事業である。江戸川区も大いに参考とし積極的な取り組みを。

②江戸川区を誇りに思う子どもの育成についての所見を。

☎ ①「学びの二十一世紀塾」では数多くの地域の方が協力しているという点で、1万6千人のボランティアが活動する江戸川区のすすくすくスクールに通じるものがある。また学力向上に向けて、江戸川区としても土曜授業やサタデープロジェクト、夏休みの補習など実施しているところだが、豊後高田市の例を参考に一層の教育の向上につなげたい。

②江戸川区の子どもたちは、区民まつり、地域まつり、運動会や周年行事などに参加し、さらには、お背中流し隊、肩こりなくし隊を始めとしたボランティア活動などさまざまなところでも活躍し、地域とのつながりが非常に深い。地域の人々がすすくすくスクールやチャレンジ・ザ・ドリームなどを通して協力することで、子どもたちは地域の人の心を感じ、それが地域の魅力につながっている。そういうところから地域に誇りをもつ子どもたちが生まれてきており、今後もさらに発展させていきたい。

☎ 子どもたちに郷土である「江戸川区」を愛し誇りに思ってもらうため、江戸川区の歴史、文化、縁のある人、風物、伝統工芸などを題材とした「江戸川かるた」を作成し、競技大会を開催したい。そのために編集委員会を立ち上げ、27年前に発行した「江戸川かるた」の改定版の作成を。

☎ 「江戸川かるた」は、子どもが楽しみながら江戸川区のことを学びつつ誇りを持つことのできる事業だと思う。郷土を愛し、知ることができるとして参考とさせていただきたい。

☎ 区立中学校の卒業式に議会代表である議長の祝辞を代読する機会を。

☎ 学校行事である卒業式は、運営上さまざまな課題があり、要望としてうかがいたい。



メディアユニバーサルデザインの推進 清新町地域の小学校統合について

公明党 伊藤 てる子

☎ 東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、区の施設や広報などにおいて見やすさ、

分かりやすさに配慮したメディア・ユニバーサルデザインの推進を。

☎ 国際的なイベントに向け、さらに研究し良いものとする努力をしていく。

☎ 公共施設、公共建造物のコンクリート劣化調査、補修の推進について

①区や都が管理する公共施設の安全確認の方法は。

②道路、鉄道等の点検の現状と改正後の道路法のもとでの今後の点検、補修は。

☎ ①全施設で3年に1回の目視点検と10年に1回の外壁の全面打診点検をしている。

②これまで目視点検が主だったが、来年度より5年に1回近接目視等により確認を行う。

☎ 江戸川区すすくすくスクール事業について

①放課後児童健全育成事業とすすくすくスクール事業での学童クラブとの違いは。

②学童クラブの運営上の詳細な基準などを規則や要綱でわかりやすく示してもらいたい。

☎ ①放課後児童健全育成事業には定員、専用室があるが、すすくすくスクールには定員等がない。

②国の規定等を参考に明示していく。

☎ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた「ごみダイエット」のさらなる取り組みについて

①オリンピック開催に向けて、ごみ減量のスローガンや宣伝などを清掃作業車両に掲示しては。

②区民へのごみ減量の啓発講座やPRなどの取り組みを。

☎ ①重要な視点であり参考としたい。

②23区と都が目指す資源循環型社会を世界の皆さんに理解し評価してもらえようしっかり取り組んでいく。

☎ 東京メトロ東西線の利便性、安全性の向上について

①帰宅時間帯も快速運転から通勤快速に切替え、西葛西・葛西駅にも停車を。

②荒川鉄橋の防音壁設置の現状は。

③西葛西・葛西駅にホームドア設置の推進を。

☎ ①機会を捉え、さらに協議を深めていく。

②今後も防音効果を高める努力をすると聞いている。

③今後とも早期の整備を要請していく。

☎ 清新町地域の学校統合について

①統合の概要、今後の課題及びスケジュールは。

②どこに重点を置いて統合を進めるか。

③統合後の学校施設の活用についての考えは。

☎ ①平成28年4月に清新第二小学校と清新第三小学校を統合し、うみかぜ学級は新田小へ移設となる。来年度から具体的な準備を行う。

②児童がのびのびと仲良く学習できる学校を目指す。

③あらゆる角度から活用方法を検討する。

入札制度の改善、中学校への防犯カメラ設置を求める



民主・みんな・維新 ます 秀行

☎ 公共調達基本条例に基づく「一般競争入札制度」の見直しについて

①入札制度の見直しは急務であるが区長の考えは。

②公共調達基本条例の目的の一つでもある「区内業者の育成」の趣旨は。

③前請負企業が経営破たんし、緊急に請負企業を選定した船堀小学校の改築工事の問題点は。

③ ①契約の適正化とともに、競争性を担保しながら地域社会への貢献と地域経済の活性化を図るといふ制度の趣旨を貫徹すべく努力していく。

②仕事を請け負っていただくことにより、業界および地域経済が発展することを目指している。  
③工事中断により止めてしまった資材の製造を再開するための時間がかかり、工期の延長が必要となった。

問 資源ごみの持ち去り問題について、持ち去り禁止条例の制定、業者に対する指導を徹底強化及び買い取り業者へ理解を求める等の解決努力を。また、集団回収制度の欠点を克服するため、その仕組みを見直し、回収の精度を高める工夫を。

答 23区でも条例を作るなどさまざまな手立てを講じているが問題解決に至っていない。業者への指導は行っていくが、多くの区民の理解をいただき集団回収を徹底することが問題解決の近道であると考え、これまでの方針でやっていきたい。

問 社会福祉法人に土地建物を無償貸与している実態を区民に説明するために、新公会計制度の導入に合わせ、予算書・決算書などの会計簿上に記載を。

答 公会計の中では、土地建物の無償貸与を補助金として経理するのは難しい。財務レポート等、さまざまな方法を検討していきたい。

問 盗難被害にあった自転車が撤去された場合に撤去手数料を徴収することは、善良な区民を犠牲にする制度であり即座に改善すべきであるが、区長の見解は。

答 本区の方式を他区でも採用しており成果があがっていると聞く。区民へ丁寧に周知を図り、理解を得ていく。

問 区内に1箇所もない救急救命センターの設置について、国や都に積極的に働きかけを。

答 区内の救急救命センターの創設は実現性が薄い。消防庁のヘリコプターで江戸川河川敷から都心の病院に運ぶ体制がとられており、今後も協力を得ていく。

問 中学校に防犯カメラを設置しないことの基本的な考え方は。

答 教職員、保護者、地域の方の見守りといった人の力で安全対応を考えている。

問 インド人が多く在住する西葛西が日印友好の拠点となるよう、インド人施策の拡充を。

答 2千人を超えるインド人が西葛西に在住しており地域とも融和している。快適に住んでいただけるよう力を入れていく。



### 特養・保育園増設を スーパー堤防より水害対策を



日本共産党  
セバタ 勇

問 介護保険制度について

①要支援認定、利用者負担及び介護スタッフの処遇は従来どおりか。

②特養の整備率向上と区有地等の活用は。

答 ①要支援認定と利用者負担の変更はない。スタッフの処遇は悪化しないよう努力する。

②整備率と保険料のバランスを考えていく。

問 子ども・子育て支援新制度について

①待機児解消は、認可保育園の増設で。

②新制度下でも従来通りの保育水準の維持を。

③民間参入の学童クラブが区の水準より低下しないか。また、児童福祉法とすくすくスクールの関係は。

答 ①さまざまな制度を使い待機児解消に努める。

②保育の質の確保と子育ての環境整備に努める。

③厚労省の基準どおり規定している。すくすくスクールは区の独自施策として実施する。

問 スーパー堤防と水害対策について

①直接施行が住民に与えた影響の認識は。

②区の豪雨対策と今後の対策は。

答 ①多くの方にご理解いただいている。

②道路冠水の看板設置や土のうステーションの増設。今後の対策は下水道局と協議していく。

### 今、日本の一大事を問う



祖国日本  
須賀 清次

問 子どもを危険ドラッグなどの魔の手からどのように守り、導いていくか。

答 子どもは大人の背中を見て育つ。保護者や教員が子どもへの愛を持つことが必要。

問 区政運営に最善の努力をされてきた区長の健全財政のための自助・共助・公助への思いを。

答 私の役割が終わるときまで努力をしていきたい。

問 日本の歴史、伝統、文化を見直し、日本人として自信を取り戻す教育を。

答 道徳心を持ち、礼節を重んじ、心身のたくましさ、正しく生きる力を持った子どもをみんなで育てていきたい。

### 子どもの貧困をなくそう 学童クラブ条例の存続を



えどがわ区民ひろば  
滝沢 やすこ

問 子どもの貧困と対策について

①子どもの貧困に対する区長の認識と姿勢は。

②新生児里親、特別養子縁組への取り組みを。

③子どもの貧困へ教職員のさらなる理解を。

答 ①全ての子どもが何不自由なく学び、生活できる環境を作らなければならないと考えている。

②里親制度を拡大する方向で努力をしている。

③子どもの貧困対策に関する大綱の趣旨を区教育委員会から学校に繰り返し伝える。

問 老朽家屋・空き家対策への取り組みは。

答 国会での空き家等対策の推進に関する特別法の審議の動きを踏まえ対応していく。

問 地域力を生かすオープンデータの推進を。

答 効果的な活用方法など課題を整理し推進する。

### 小岩南部地域に コミュニティ会館の建設を!!



公明党  
竹平 ちはる

問 危険ドラッグ撲滅に向けた取り組みについて

①危険ドラッグに危機意識を持ち、蔓延する前に早急な対策が必要である。危険ドラッグ撲滅に向けた取り組みは。

②子ども達へ危険ドラッグの正しい知識と教育、教職員や保護者への普及啓発強化を。

答 ①4月の薬事法の改正で販売、製造に加え所持、買い受け、譲渡も一切禁止となった。国や都、警察と連携し区内で販売されないことがないよう厳格な対応をしていく。

②児童・生徒には保健体育や道徳などで教育を行っている。保護者などには薬物乱用防止教室等を開催し啓発強化をしている。薬物の影響や恐ろしさについて繰り返し指導していく。

問 口腔ケア対策の推進について

①歯周病の怖さに対する意識啓発の推進を。

②妊婦歯科検診の個別診療への展開を。

③高齢者に対する口腔ケアの周知など、対策のさらなる強化を。

答 ①歯科医師会と協力し、歯周病を始め口腔ケアへの教育的な活動を積極的に進めたい。

②口腔ケアへの意識の向上や公費負担の是非も含めて、今後研究を深めていく。

③健康施策の一環として関係機関や団体と連携し口腔ケアの重要性を周知していく。

問 区ではハローベビー教室の開催など父親の育児参加促進事業を行っているが、さらなる促進に向けた取り組みは。

答 夫婦で育児に対する意識を高め、協力して子育てするという事に努めてもらいたい。

問 自助と公助をつなぐ共助の強化策として、地区防災計画の策定への取り組みは。

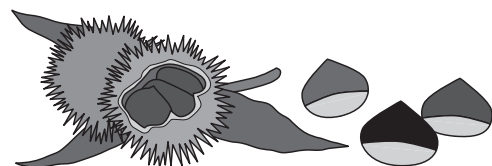
答 災害対策基本法に基づき、町会単位など狭い範囲での防災計画を策定していく。

問 南小岩南部・東松本地区を災害に強いまちにするための今後の事業の進め方と地域住民との合意形成の方法は。

答 平成27年4月の不燃化特区指定に向けてまちづくり協議会の設立準備、11月に全世帯対象の説明会を予定している。協議会の中で密集事業や街路事業、地区防災計画などソフト面も含めて話し合い、合意形成を図る。

問 コミュニティ施設の空白地域となっている小岩南部地域に地域住民の憩いの場としてコミュニティ会館の建設を。

答 コミュニティ施設は文化的活動や健康増進などいろいろな形で地域を盛り上げる有益な施設であり、空白地帯をなくすため前向きに取り組んでいきたい。



# 決算特別委員会

決算特別委員会は、10月2日から10月17日までの間の8日間にわたって、一般会計と3特別会計の各決算について、予算が計画的かつ効果的に執行されたか、慎重に審査を行いました。

委員会での審査を踏まえ、10月28日の本会議で採決の結果、平成25年度各会計歳入歳出決算は、賛成29・反対12で認定されました。

## 決算特別委員会委員 (◎委員長○副委員長)

◎ 八武崎一郎	大西 洋平	斉藤まさたか	ふじさわ進一
○ 関根まみ子	大橋みえ子	田中 寿一	早川 和江
中津川まさあき	ふかえ一之	田島てつたろう	セバタ 勇
ます 秀行	えぞえ亮一	小俣のり子	川口としお
金井 茂	新村井玖子	田中 けん	島村 和成
佐々木ゆういち	太田きみひろ	中里 省三	渡部 正明
所たかひろ	堀江そういち	須賀 清次	

委員定数 19名 (委員の途中交代あり)



決算特別委員会の様子

## 平成25年度決算に対する各会派の意見

### 自由民主党 (賛成)

平成25年度決算審査にあたり、「持続可能な財政」こそが区政発展の基盤であるとの認識に立ち、「次世代に負担を先送りしない区政運営が行われたか」、「区民の自助と共助を基本に共育・協働の理念が施策の随所に貫かれたか」、「誰もが夢を持って挑戦できる社会を目指すと共に、額に汗して働く人間の努力が真に報われる公正・公平な社会の実現に努めたか」の観点の評価の中心に据え、区政万般にわたる施策について審査した。

結果として、区長の統率力と決断力、そして先見性による施策が、区民の安心と未来への希望を生み出していること及び区民との確固たる信頼を礎にした区政運営が所期の目的を達成するとともに、今後、より質の高い施策に帰結していくという確信から、平成25年度歳入歳出決算を認定する。

[主な要望]

- 公平・公正及び歳入確保の観点から、税や保険料・貸付金などの複数の債権を滞納している多重債務者の現状把握と厳格な対応、庁内における一元的な管理システムの構築を。
- 悪質滞納者への財産の差し押さえ、インターネット公売の積極的な活用を。
- 保育料が未納となっている状況は、300名近くいる待機児童を持つ保護者の納得を得られない。児童手当との相殺など、あらゆる努力を重ねて収入率100%を目指すこと。
- 庁舎移転・建設は50年に一度の大きな事業である。庁舎は最大の行政サービス拠点との

### 庁舎移転問題



認識に立ち、区民・議会・行政が真剣な議論を重ね、未来に大きな責任を果たすこと。

○生活一時資金貸付金について、貸付金の原資も税金であるとの認識に立ち、「借りたものは返す」という公平性ある適正な運用を。また、償還状況や保証人の管理等、貸し倒れを極力防ぐためのさらなる努力を。

○小型家電リサイクルについては、現在の粗大ごみからのピックアップに加え、燃やさないごみからの回収の早期実現を図り、「ごみダイエットプラン」の着実な推進と「資源循環都市・えどがわ」の実現を。

○認知症高齢者の徘徊や行方不明が社会問題となっている現状に鑑み、認知症予防はもちろんのこと、認知症行方不明者の早期発見・解決ができるよう、警察をはじめとした関係機関との積極的な連携を。

○少子化対策の中核となる待機児解消をめざし、認可保育園を主として来年度からの子ども・子育て支援新制度を含め誠意ある説明と前進を。

○生活保護に関して、不正受給が多くなると、真に必要な方にまで誤解を招くことや、公平・公正な社会を実現することから、厳正な対応を。また区の財政負担も考慮し、国と地方の役割分担や将来像などについて区長会・全国市長会での議論を。

○早期発見・早期治療が決めてであるがん検診の受診率向上にさらなる努力を。とりわけ乳がん検診は女性のがん罹患防止に重要な項目であるが、検査を行う医師に女性が少ない。検査センターへの女性医師の採用を進めること。

○ボランティアの担い手の供給源でもあり、職住接近が本区の喫緊のテーマであることから商店街振興及び都市農業振興の一層の推進を。

○江戸川区の地場産業である小松菜を行政とJAとのタイアップにより、一層のPRを。

○JR小岩駅再開発は、地権者のみならず多くの住民の意見を踏まえて、真に小岩地区の発展につながる事業として推進していくこと。

○今後の少子高齢化と核家族化の進展により高齢者向け賃貸住宅と特養ホームの需要はますます高まっていくことが予想される。質の高い快適な高齢者向け賃貸住宅の建設の推進と特養ホームの適正な配置を。

○区民の健康を守り、利便性を高めるため、東部地区など各地域から葛西臨海病院までの

バス路線の整備について、関係機関と協議のうえ、実現をめざす努力を。

○京成本線立体化について、交通渋滞の緩和と地域活性化の観点から、早期の都市計画決定を。

○新中川橋梁整備について、かつての新中川開削で分断された町会の心の架け橋として重要な役割を果たしてきた松本橋架け替えの早期実現を。

○区立公園に設置された健康遊具について、指導者の派遣や講習会の開催などを通して公園の楽しさや健康の喜びを伝え、利用促進を図るなどPR強化を。

○学力向上は学校教育の大きな柱のひとつであることから、家庭・地域・学校が一体となって学習意欲をかきたて、学ぶ喜びを実感させる教育の推進を。

○台風や災害時の学校休校の判断について、教育委員会の定めた判断基準を明らかにし、日頃から児童・生徒や保護者に周知徹底することにより、混乱のないスムーズな対応を。

○道徳教育について、文部科学省発行の「私たちの道徳」を家族や地域でともに考えるための教材として活用できるよう、学校や教育委員会から積極的な働きかけを。

### 公明党 (賛成)

平成25年度決算審査にあたり、「区民を守る生活者優先の施策の実施」や「区民が快適に住み続けられるか」などの視点から、予算執行が最小の経費で、最大の行政効果を上げたかを審査した。

その結果、区議会公明党として妥当なものとの結論に至り、平成25年度江戸川区各会計歳入歳出決算を認定する。

[主な要望]

○遠隔地の税金滞納者に対する徴収業務委託が成果を上げていることから、都内の滞納者に対する徴収業務にも委託の活用を。

○本庁舎建替えについて、移転地の選定や現庁舎の跡地問題、建設手法など十分な検討を。

○新公会計制度の開始に向けた万全の準備を。

○公共調達基本条例による学校改築事業では、社会的要請に応える入札制度の見直しとインフレスライドの運用について適用期間の延長を。

- 災害対策基本法に基づき、住民意識の向上と地域コミュニティが深まるよう、実効性のある地区防災計画の策定を。
- マイナンバー制度の導入と各証明書のコンビニ交付など区民生活の利便性の向上推進を。
- 認知症高齢者を消費者トラブルから守るため、周囲の見守り強化と成年後見人制度の促進を。
- 共育プラザを中高生の活動の場としてさらなる魅力への取り組みと、学校の統合による空きスペースを活用し、葛西南部地域への展開を。
- 江戸川・荒川河川敷におけるAEDのさらなる増設を。
- 自転車盗をはじめ犯罪認知件数の減少と子どもへの犯罪防止に対する取り組みの強化を。
- 羽田空港の使用拡大に伴う、飛行機の騒音問題に関して関係機関と騒音低減の交渉を。



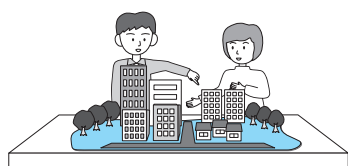
**飛行機の騒音問題**

- 地域の実情に合わせた効果的な資源回収の啓発を。
- ごみの減量への意識改革に向けた取り組みを。
- 高齢者の見守り強化のため、安心生活応援ネットワークに未参入の宅配業者の参加要請と「マモルくん」の利用拡大を。
- 発達障害支援センターによる保育・教育機関への巡回支援の充実と子どもたちへの支援のためにサポートファイルのより良い活用を。
- 年齢や障害の有無に関わらず誰もが集える「あったかハウス」の他地域への展開を。
- 子どもが病気の時に働く親が安心して預けられるよう、中央地域に病児・病後児保育の拡充を。
- がん検診の受診率向上のため、個別勧奨のさらなる拡充と歯科医師会と連携し、口腔がん啓発の周知を。
- 関係所管と綿密に連携し、危険ドラッグの正しい情報提供と撲滅に向けた取り組みを。
- 区内産業活性化のために創業希望者への支援の充実を。
- 区民に安らぎを与えている「区民農園」や「体験型農園」など農に親しむ場の拡充を。
- 街づくりに資する区全体で統一したユニバーサルデザインの推進と駅のホームドアや一之江駅西口エレベーターの早期整備を。
- 高齢者向け賃貸住宅について、医療と介護連携の施設整備をはじめ、多様化するニーズに対応した住宅の整備促進を。
- 水防対策として、土のうステーションの増設や排水環境の整備や周知を。
- 松本橋の架け替えは地元住民と丁寧な協議を行い、地域の意見が活かされた計画を。
- 健康づくりの一環として体力向上や介護予防に効果的な遊具の導入と使い方の周知を。
- 学校適正配置について、学校の小規模化によって生じる教育上の問題解決と地域活性化の推進、合意形成などに対し丁寧な対応を。
- いじめ根絶のために『LINE』を使った相談窓口の拡充を。
- 学校や保護者、地域住民に学力テスト結果公表の目的を理解してもらう取り組みを。
- 特別支援学級の増設とタブレット端末などの導入を。
- 学校施設のAED活用のため「緊急侵入口」の整備と中学生への「救命講習」の推進を。

- 学校図書館の活性化のため、司書の配置と蔵書管理のバーコードの導入を。
- がん教育について健康部と連携を密にし、内容の充実を図るとともに、効果的ながん教育推進のためにカリキュラムなどの開発を。
- 若い世代の特定健診の受診率向上の工夫と国保レセプトデータを活用した生活習慣病の予防やジェネリック医薬品の利用拡大を。
- 熟年相談室を統括支援する体制の強化を。
- 認知症への普及啓発、早期診断・早期発見の推進、支援体制整備の全庁的な取り組みを。

**民主・みんな・維新(反対)**

- 船堀小学校の改築工事において、請負業者の倒産という結果、昨年12月25日に臨時会を開き、予算編成を行った。「区民の税金は一切使いません」、「工期も遅れずに」という約束であったにもかかわらず、工期は延び、税金3500万円の損金を計上する結果となった。議会との約束を反故にした責任は重く、こうした状況の再発を防ぐため、また、現行の入札制度の改善を促すために、平成25年度江戸川区一般会計歳入歳出決算の認定に反対する。各特別会計の歳入歳出決算については認定する。
- [主な要望]
- 将来的に歳入面において自主財源などが改善される見通しが立っていないため、施設使用料の諸収入等で歳入の確保を。
- 第6期介護保険事業計画策定にあたり、10年、20年先を見据えた計画の策定を。
- 議会の運営経費のうち、23区で突出している経費等については削減を。
- 本庁舎・大型公共施設の建て替えは、公立小中学校の統廃合後の跡地の利用を。
- 社会的総合評価一般競争入札制度は、区外業者にも参加しやすい制度の改善を。
- 生活一時資金を貸し付ける際の連帯保証人制度の運用の再考を。
- TSUTAYAとスターバックスがコラボするユニークな図書館運営を本区でも検討を。
- 江東区の水陸両用車事業等を参考にして、民間事業者公募による観光事業の新たな施策展開を。
- 資源ごみの持ち去り問題について、撲滅に向けた区の強い姿勢と業者指導の徹底強化を。
- 区の施設のAEDを24時間対応できるように設置方法に工夫を。
- 熟年者徘徊探索サービスの利用者やその家族からアンケートやヒアリング調査の実施を。
- 発達障害への普及啓発をさらに進め、保護者にも支援の充実を。
- JR小岩駅周辺の再開発は、50年・100年後も評価されるような街づくりを。



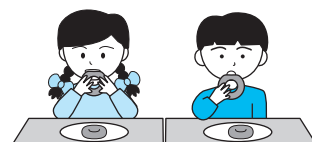
**小岩駅周辺再開発**

- 葛西駅地下駐輪場の漏水事故の責任の所在を明確にし、区に非がなければ法的手段を。非があるかないか不明確であれば、第三者機関に相談を。
- 防災公園の機能を兼ねる本一色さくら公園に早急に電源の設置を。

- 京葉道路の立体交差化と左折レーンの早急な新設を。
- 砂場のある公園には、スコップと土のう袋を設置すること。
- 中学校に防犯カメラの早期の設置を。
- 台風等の自然災害対応において、各学校で判断が分かれるため、教育委員会が統一の判断を。
- 教育委員会だけでなく区全体で学力向上に向けた取り組みを。

**日本共産党(反対)**

- 平成25年度は216項目約36億円もの区民サービスが削減され、暮らしへの打撃が深まった。その後、財政難から脱却したにもかかわらず、今年度はさらなる削減と消費税の転嫁など区民への冷たい姿勢が貫かれている。日本共産党は、区民への打撃となった平成25年度歳入歳出決算の認定に明確に反対する。
- [主な反対理由]
- 認可保育園を増やさないことや区立保育園保育士のアンバランスな年齢構成、認証保育所保育料補助の未実施など子どもを育てる環境を大事にしない姿勢であること。
- まち壊し、人壊し、治水に役立たないスーパー堤防事業や真に必要なものか検証もない道路計画を強行し、区民の声を顧みない姿勢。
- 法人実効税率と法人住民税削減の前提となる消費税増税に反対しない姿勢であること。
- 学童保育の正規職員の採用や補食の復活を行わず、学童保育における区の公的責任を果たさない姿勢であること。



**学童クラブの補食**

**祖国日本(賛成)**

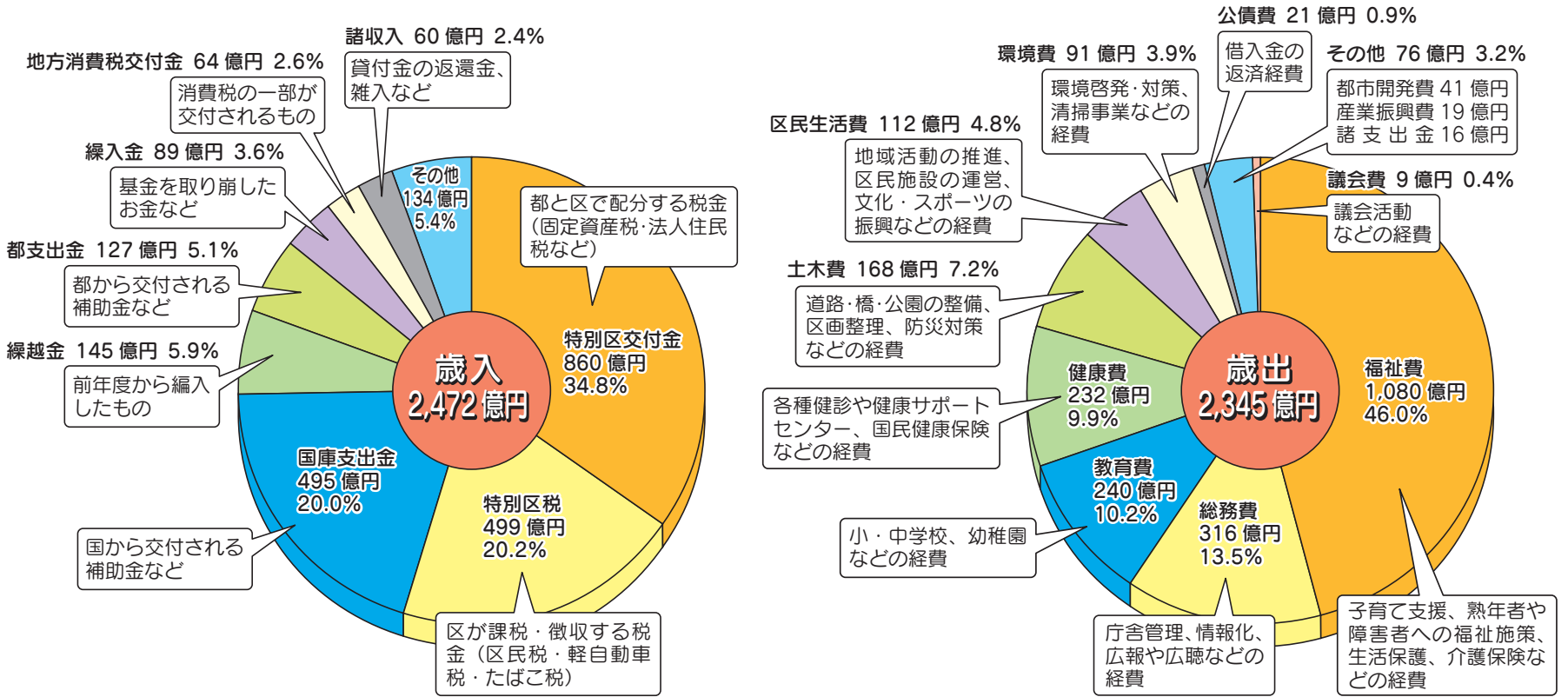
- 平成25年度各会計歳入歳出決算について祖国日本は認定する。
- [主な要望]
- 過去3年間で1859万円余が返還されている政務活動費は補助金である。区民第一と考えるのであれば、議会改革の中で削減を。
- 防犯カメラなど道具や機械に頼らない環境づくりのため、規範意識の向上を。

**生活者ネットワーク(賛成)**

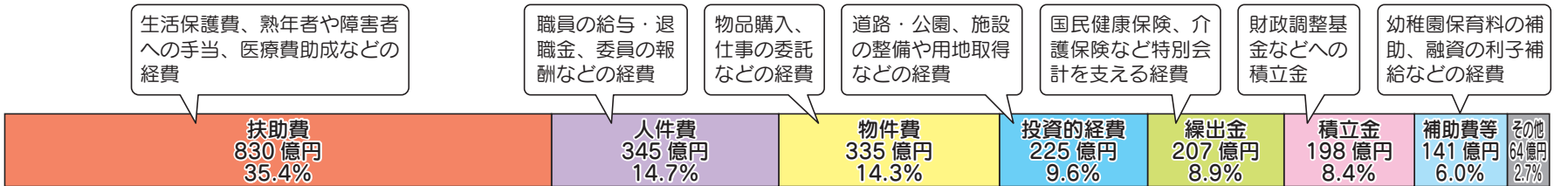
- 公共事業・情報公開・学童保育・区民参加などでは見解の相違もあるが、限られた財源での予算執行であり、各会計決算を認定する。
- [主な要望]
- 福祉的要素を含み、生活の場を謳っている、国の「放課後児童健全育成事業」の役割を果たす「すすくすくスクール」であるべき。学童登録児童の補食については、再考を強く求める。

# 平成25年度各会計歳入歳出決算のあらまし

## 一般会計



### 歳出の性質別内訳



金額及び構成比は表示単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しないことがあります。

## 特別会計

国民健康保険事業特別会計		介護保険事業特別会計		後期高齢者医療特別会計	
歳入	764億円	歳入	338億円	歳入	101億円
歳出	739億円	歳出	328億円	歳出	101億円

### ご存知ですか? 請願・陳情

請願・陳情とは、区民の皆さんの意見や要望を行政に反映させるため、議会に対して文書で施策の実現などを要望する制度です。議員の紹介のあるものを「請願」、紹介のないものを「陳情」と呼んでいます。区議会での取り扱いとは同じです。

採択された請願・陳情は、区長などの執行機関に送付し、その趣旨は、十分に尊重されることとなります。

また、国や都が措置するような内容のものは、意見書や要望書として各関係機関に提出します。

請願・陳情の受付は随時行っておりますが、定例会ごとに締切日を設けています。第4回定例会での締切日は、次のとおりです。

- 11月25日(火)午後5時  
第4回定例会中の委員会から審査します。
- 12月2日(火)午後5時  
第4回定例会終了後の直近の委員会から審査します。

※ 請願・陳情書の作成の際には留意事項がありますので、あらかじめ区議会事務局までお問い合わせください。

### 平成26年度第4回定例会開催予定

- 11月27日(木) 本会議(議案上程、委員会付託)
- 12月1日(月) 本会議(一般質問)
- 2日(火) 本会議(一般質問)
- 3日(水) 常任委員会(議案審査)
- 4日(木) 各常任委員会(請願・陳情等の審査)
- 10日(水) 本会議(委員会報告及び表決)

※ 本会議は午後1時、各委員会は午前10時開会予定です。

※ 傍聴の受付は、本会議は開会日当日の正午以降、各委員会は開会日当日の午前8時30分以降に区役所西棟3階の区議会事務局で先着順に受付しています。なお、定員がありますので詳しくは区議会事務局までお問い合わせください。

### 委員会室の不適切な利用に関する謝罪について

去る10月17日に滝沢泰子議員による委員会室の不適切な利用がありました。その行為について、10月28日に開催された議会運営委員会の決定に従い、滝沢議員から謝罪がありました。

### 区議会だより編集委員会(◎委員長 ○副委員長)

- ◎ ふじさわ 進一 ふかえ 一之
- 川瀬 やすのり